

会 議 録

会 議 の 名 称		新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第24回）
開 催 日 時		令和2年9月30日（水）午前9時00分
開 催 場 所		川島町役場 2階 大会議室
議 題		(1) 新型コロナウイルス感染症の発生動向について (2) 公共施設の開放について (3) その他
公開・非公開の別		公 開 ・ 非公開 ・ 一部非公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	町長、副町長、教育長 政策推進課長、総務課長、税務課長、町民生活課長、ゼロ・ウェイスト推進室長、健康福祉課長、子育て支援課長、農政産業課長、まち整備課長、まちづくり推進室長、上下水道課長、出納室長、教育総務課長、生涯学習課長、議会事務局長
	事務局職員	総務課：高城主幹、道祖土主幹、菊地主査
配布資料		・ 次第 ・ 検査陽性者・疑い例検査数の状況【9月29日現在】 ・ 新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況 ・ 国と県、両方のアプリを活用！
審議会等の内容・概要		
<p>1 開会 進行 総務課長</p> <p>2 あいさつ 飯島町長</p> <p> 新型コロナウイルス感染症に対する報道も少なくなっているが、感染者数の状況は変わらない、引き続き感染対策を実施してほしい。</p> <p> また、町のコロナ対策については、聞いている中では好評をいただいている。しかしながら、今後、インフルエンザ等もありますので、さらに気を引き締めて感染対策を実施してほしい。</p> <p>3 議事</p> <p> (1) 新型コロナウイルス感染症の発生動向について【総務課】</p> <p> ・ 発生動向について</p> <p> 検査陽性者・疑い例件数の状況について、全国的にも、新規陽性者数は、減少傾向にあるものの、未だ終息とは言えず、これから冬を迎える中、インフルエンザの流行も踏まえ、動向が懸念されております。</p> <p> 埼玉県においても、新規陽性者数は減少傾向にあり、20人前後の感染者が発生しております。また、町においては、初めて感染者が発生した以降5名の感染者が</p>		

発生しましたが、8月5日以降は、感染者の発生はなく、感染した方もすべて完治している状況です。

・コロナ関連アプリについて

埼玉県では、埼玉県ラインコロナお知らせシステム、新型コロナウイルス接触確認アプリ（ココア）で通知を受けた方、全員がPCR検査を受けられると発表しました。

通知が届いた場合、保健所に連絡するとPCR検査が受けられるものです。

・その他

職員の感染症対策について、県内公共団体での感染者も発生しております。改めて、換気、消毒など、気を緩めることなく感染症対策を徹底してください。

【教育総務課長】

入院調整中とはどのような状態か？

【総務課長】

陽性者が、入院する病院決まっていない等の理由により、入院調整中となります。

(2) 公共施設の開放について **【生涯学習課長】**

近隣市町村については、社会教育施設は、嵐山町、小川町、吉見町以外は他市町村の利用を再開しております。社会体育施設は、嵐山町、吉見町、鳩山町以外は他市町村の利用を再開しております。図書館については、通常どおりとなっております。

レインボーは、社会教育施設及び社会体育施設は、越生町以外は開放している状況になります。

これらの状況をふまえ、川島町の社会教育施設及び社会体育施設の利用について、10月から利用制限を解除し、通常どおりとしたいと思います。

かわみんハウスと老人福祉センターは、高齢者及び子供が対象である為、現在と同様とし、町内利用限定として実施します。

【まち整備課長】

公園施設についても、同様の対応とします。

(3) その他

・コロナ対策実施事業 **【農政産業課長】**

持続化給付金は19件の事業者に給付し、生活様式対応事業は44件の事業者に給付しており、商工会と協力し、飲食店の状況を伺いながら実施している。

また、かわじマルシェについても、商工会と調整しており、コロナ対策をしっかりと実施したうえで、小規模の実施を検討しております。

・環境美化運動について **【町民生活課】**

秋の環境美化運動を予定しておりましたが、今年は中止とさせていただきたい。

・教育部局からの報告 **【教育長】**

修学旅行については、コロナ対策として、密を避けるなどの対策をし、実施した

いと考えている。

運動会について、半日開催、保護者観覧のみ等、コロナの中においても、子ども達のために、最大限実施していきたいと考えている。

・今後の対策会議について【総務課長】

対策本部は今後も当面の間、設置したままとします。

4 閉会 石島副町長

新型コロナウイルス感染症により、町の事業についても中止が多いが、感染症対策を十分実施した中で、新しい生活様式、新しい事業実施の考え方のもと、実施できるように考えてもらいたい。

以 上